

第 10 回 産学官 CIM・GIS セミナーのご案内

～情報化施工の現状と i-Construction の展望～

国土交通省が提唱する i-Construction に先駆けて建機メーカーのコマツでは 2015 年 2 月より建設現場にあるあらゆる情報を ICT で繋ぎ、安全で生産性の高い現場を実現する「スマートコンストラクション」を開始し既に多くの実績を上げています。また一方、高精度で膨大な 3 次元計測が出来る UAV を使って、3 次元測量を行う写真測量技術の活用とマニュアル化が進んでおります。そこでこの度、コマツレンタルの野表氏とトプコンの大谷氏をメインスピーカーに迎えて、建設現場と施工の「見える化」による改善例を伺うとともに、道内の CIM 試行モデル等も含めた i-Construction の取組概要について北海道開発局の島多企画官に伺います。皆様方におかれましては、ご多用の折とは存じますが多数ご参加いただきますよう宜しくお願い致します。

記

【日 時】平成 28 年 9 月 30 日 (金) 13:30～16:30

【会 場】札幌コンベンションセンター 204 会議室

〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1 TEL 011-817-1010

【プログラム】

13:30 開会の挨拶

13:35～14:30

講演 1 「コマツレンタルにおける i-Construction・情報化施工の取組概要及び事例」

講師：野表 孝彰氏(コマツレンタル(株)北海道営業部スマートコンストラクション推進室)

〈講演内容〉

コマツレンタルの i-Construction 及び情報化施工に対する取組であるスマートコンストラクションの概要説明とそのケーススタディをご紹介します。

14:30～15:30

講演 2 「UAV による 3 次元モデル生成精度の現状と出来形管理要領」

講師：大谷 仁志氏 (株)トプコン営業本部 国内 ICT-施工/農業推進部

〈講演内容〉

出来形管理要領のマニュアルに記載されている内容を概説し、点群データの生成、精度検証テストの結果について事例をご紹介します。

15:30～15:40 休憩

15:40～16:20

講演 3 「北海道開発局における i-Construction の取組概要」

講師：島多 昭典氏(北海道開発局事業振興部技術管理課企画官)

16:20～16:30

講演 4 「産学官 CIM・GIS 研究会における UAV (ドローン) に対する取組み」

講師：雫石 和利氏(産学官 CIM・GIS 研究会幹事長)

【参加費】一般 3,000 円、主催・共催団体会員 2,000 円

【参加費振込先】北洋銀行 北 7 条支店 (普通) 4034121 サカカカンシムジ-アヒスエンキョウカイ

【申込み URL】<http://sangaku.tank.jp/wp2/info/10thcimgisseminar/>

【主催】産学官 CIM・GIS 研究会

【共催】産学官研究フォーラム/北海道 GIS・GPS 研究会、(特非) Digital 北海道研究会

【後援依頼】(一社) 建設コンサルタンツ協会北海道支部、(一社) 北海道測量設計業協会

(公社) 土木学会北海道支部、(一社) 北海道建設業協会

(一社) 日本写真測量学会北海道支部、北海道 GIS 技術研究会

【連絡先】産学官 CIM・GIS 研究会 (担当 藤原)

〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 5 丁目 6-1 ストークマンション札幌 507 号室

TEL 011-374-6836 FAX 011-299-5070 E-mail: forum@sangaku2.sakura.ne.jp

参加申込書

申込み先：産学官 CIM・GIS 研究会：（担当：藤原）

・お申し込みは、下記の案内の申込みフォームに入力して下さい。

<http://sangaku.tank.jp/wp2/info/10thcimgisseminar/>

・FAXにてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信して下さい。

FAX : 011-299-5070



お申込ページの QR コード

2016 年 9 月 30 日（金）の「第 10 回産学官 CIM・GIS セミナー」に参加します。

所属（会社）名	役職名	氏名

申込み期限：2016 年 9 月 27 日（火）

【ご担当者】

所 属：_____

ご担当者：_____

住 所：_____

Tel: _____

E-mail: _____

注 1 ・E-mail アドレスをお持ちの方は、連絡を行う場合がありますので必ずご記入お願いします。

注 2 ・情報につきましては、当研究会の連絡以外に使用いたしません。